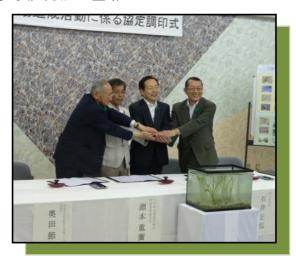
アマモ場造成活動に係る協定調印

平成24年5月14日, アマモ場造成活動に係る協定 調印式が備前市日生町の日生町漁業協同組合会議室に おいて開催された。

アマモ場は魚介類の産卵場所や稚魚のすみかとなる ことから「海のゆりかご」といわれる。水産研究所で はこれまで、県が日生町海域で進める造成アマモ場の 拡大状況と、そこに生息する魚介類の分布を調査して きたが、22 年度からは毎年、この調査に対して生活協 同組合おかやまコープから寄付金の贈呈を受けていた。

今回の協定は、これまで日生町漁業協同組合と県が 連携して進めてきた藻場造成事業と関連調査について、 生活協同組合おかやまコープ、NPO法人里海づくり研究 会議が加わって、より強力に推進するために締結した もので、今後は各団体がそれぞれの役割に応じてアマ モ場の再生等の環境保全活動を実施することとしてい る。(開発利用室: 萱野)



四者による協定調印式

